

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



試験地の状況

同左

試験地の状況

同左

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



試験地の状況



同左

ヒサカキが多数発生していた。
(スキの繁茂していない場所で)



稚樹発生状況

平成16年

技術開発実施報告・計画

森林技術センター

様式 2

課 題	15 大型林業機械による隣地の裸地化に伴う復元技術の開発				開 発 期 間	平成8年度 ~ 平成18年度		
開 発 箇 所	青井岳国有林 1105ち5林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機	技 術 開 発 目 標	1	特 定 区 域 内	○
開 発 目 的 (数 値 目 的)	トラクタ等による集材跡地の早急な緑化を図るため、天然更新による広葉樹林化の復元技術の開発を行い、トラクタ集材跡地の復元技術の指標とする。							
年 度 別 実 施 報 告	16年度 実 施 報 告				17年度 実 施 計 画 書			
	実 施 内 容				普 及 指 導		実 施 事 項 な し	
平成8年度 ①試験地設定②裸地緑化③播種 ④発生調査⑤試験地標示 平成9年度～平成13年度 ①植生調査 平成14年度 ①試験地調査②植生調査	1 植生調査 (平成17年3月実施) 人工数：1,250人			開発目的に達しているので、成果取りまとめを行う必要がある。				
技術開発委員会における意見								

(注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標 (九州森林管理局長通達)」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

「大型林業機械による隣地の裸地化に伴う復元技術の開発」

写真1 試験地状況



写真2 プロット内状況



写真3 ヤブツバキ



写真4 スギ天然下種更新（野兎被害木）

